

八ヶ岳南麓 原生花保存会

提案事業

- (1) 原生ビオトープウォーク 大深沢川遊歩道部分の整備（トライアル）
- (2) 長坂町森林公園 原生野草コーナーの整備

八ヶ岳南麓 原生花保存会とは

- ・北杜市 長坂町、高根町、大泉町、小淵沢町の山地帯（標高500～1500M）をおもな活動域とし
- ・この地域に古来より生えている草花などを未来にまで残し続けるという活動を行っています

活動目的

「人と自然が共存する持続可能な美しい地域づくり」を目指し、近年急速に減少している地域原生の草花などを対象に保護活動を行う

事業報告

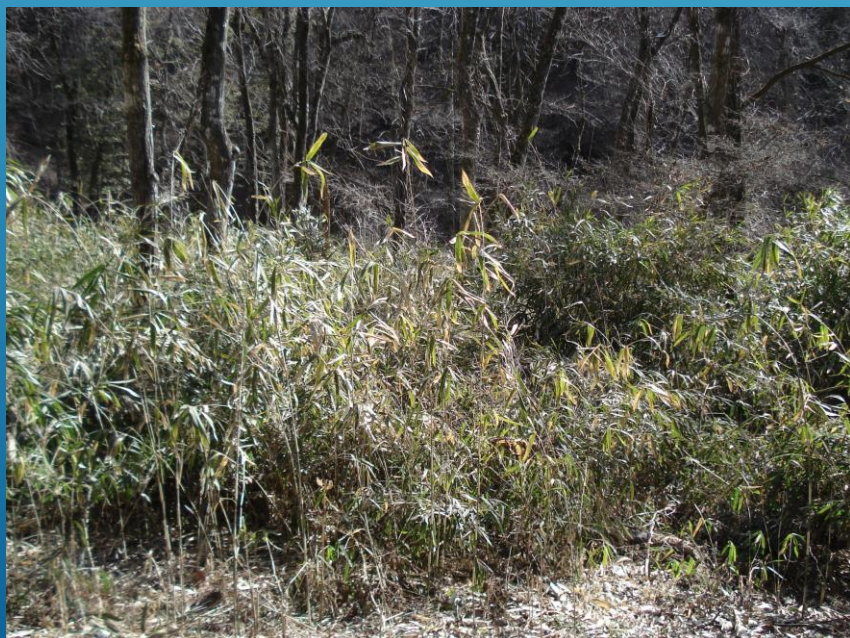
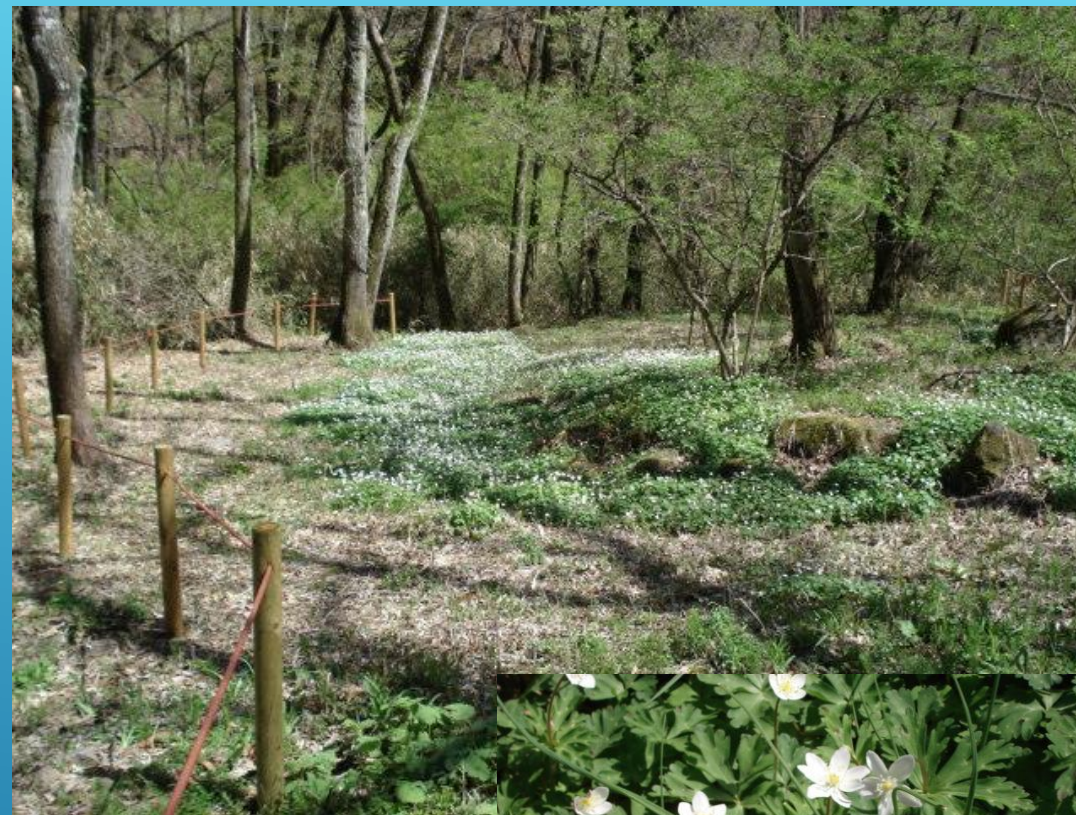
(1) 原生ビオトープウォーク 大深沢川遊歩道部分の整備 (トライアル)

原生―――地域在来の
ビオ―――生き物たちが
トープ―――生活する空間を
ウォーク―― (観察など楽しみながら) 歩く

という意味で、在来の生態系のある場所を保護・育成管理すると共に、さらにその場所をウォークコースとして活用する取り組みです。

この事業関連で平成29年度合計で 18回活動を実施しました。

活動内容は、選択的な除草・相対照度の調節などによる野草の育成管理、枯れ木の伐採・片付け、人止めロープ柵の設置 など



ニリンソウ群生地

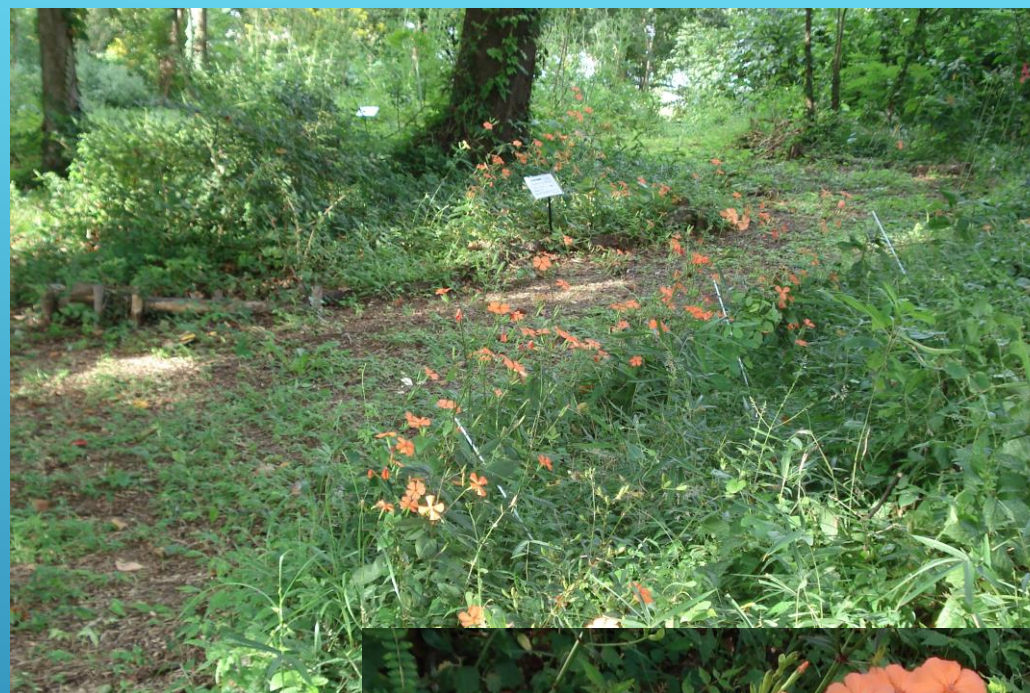


(2) 長坂町森林公園 原生野草コーナーの整備

この事業関連で平成29年度合計で 8回活動を実施

活動内容は、選択的な除草・相対照度の調節などによる野草の育成管理、通路の整備 など

今は少なくなってしまったこの地域の野草などを、保護の目的を兼ね、森林公園内に自然な状態で再現し、子供達や地域住民に憩いの場として、さらに自然観察の場として利用してもらおうという取り組みです。



フシグロセンノウ



ハヶ岳南麓 原生花保存会が目指すこと

それは「ノーネットロス」の考え方を取り入れた地域づくり

ノーネットロス (NO NET LOSS) とは

破壊によるマイナスを保全によるプラスで相殺することにより、生物多様性の損失を差し引きゼロにするという考え方です。

※ 先進国などで広く重要性が認知され、特にオランダ、ブラジル、カナダ、オーストラリアなどではノーネットロスの実施を法律で義務付けしています。

原生花保存会では「人と自然が共存する持続可能な美しい地域づくり」を適えるために、このノーネットロスの考え方が不可欠と考えています。